

■氏名：藤田 茂

【研究業績】

■著書・編著書・CD・楽譜出版等

表題	単著・共著	発行年月	出版社・発行元
<i>Libertés & contraintes. Cultures, arts, sociétés.</i> “Le compositeur Henri Dutilleux (1916-2013) et le mythe de l’indépendant.”	共著	2024.1.	Éditions Kimé
『キリスト教文化事典』 「メシアン」	共著	2022.9.	丸善出版
ピーター・ヒル／ナイジェル・シメオネ『オリヴィエ・メシアン 音楽に生きた信仰者』 (上) (下)	単 著 (翻 訳)	2020. 11.	音楽之友社
『現代フランス哲学入門』 「ベルリオーズ」 「メシアン」	共著	2020.7.	ミネルヴァ書房
<i>La musique de chambre au milieu du XXe siècle, “Le Quatuor pour la Fin du Temps d’Olivier Messiaen, ou la naissance de la ‘narrativité tournante’</i>	共著	2017.7.	Press universitaire François-Rablais
アンリ・ゴナール『理論・方法・分析から 調性音楽を読む本』	単 著 (翻 訳)	2015.8.	音楽之友社
<i>Olivier Messiaen: The Centenary Papers, “Messiaen's rational thinking in his designing of the musical form.”</i>	共著	2010.	Cambridge Scholars Publishing
『ウバルド・ガルディーニーイタリヤ・オペラを支える陰の主演』	共 著 (共 訳)	2007. 9	開成出版社
『新グローヴ・オペラ事典』 (翻訳と編集、また、登場人物索引の作成)	共著 (分担 翻訳・分担 執筆)	2006.9.	白水社
『新編 音楽中辞典』 (約30項目の執筆)	共著	2002.3.	音楽之友社

■学術論文・研究報告書等

表題	単著・共著	発行年月	発行雑誌・学会等の名称
「メシアンとヴァーグナーの鏡」	単著	2023. 7.	『ヴァーグナーシュンポジオン2023』 p.20-44. 日本ヴァーグナー協会
「アンリ・デュティユーの12音技法受容：スケッチを活用した《メタボール》と《遙かなる世界が》の分析を通して」	単著	2018.	『東京音楽大学研究紀要』 42 p.137-156.

「アンリ・デュティユーのドデカフォニズム：《メタボール》のスケッチの考察を通して」	単著	2016	『東京音楽大学研究紀要』40 p.71-93
「《同じ和音に基づいて》：アンリ・デュティユーのシステム思考」	単著	2013	『東京音楽大学研究紀要』37 p.1-23
“Interlocking-Directional Tonality, La conceptualisation d'une nouvelle organisation tonale dans les ballades de Chopin et de Liszt.”	単著	2012	<i>Quaderni dell'Istituto Liszt</i> 12 p. 63-89. Fondazione Istituto Liszt-onlus
「ショパンの《バラード》の音楽的フォルム：「バラード理論」の構築とそれによる全曲の記述」	単著	2010	『東京音楽大学研究紀要』34 p. 25-48.
「激怒する職人の孤独：ブルーゼの京都賞」	単著	2010	『ベルク年報』14 p. 49-61. 日本アルバン・ベルク協会
「メシアン没後の受容 メシアン亡きあとにメシアンを知ることについて」	単著	2008	『ベルク年報』12 p. 42-55. 日本アルバン・ベルク協会
「《峡谷から星々へ...》：メシアンの音楽における「かたち」の問題」	単著	2007	『東京音楽大学研究紀要』32 p. 27-40.
「Sept Haïkai d'Olivier Messiaen : leur analyse comme les différentes colorations du schéma de la superposition.»	単著	2006	『音楽学』51巻2号 p. 122-139. 日本音楽学会

■音楽活動等

名称	実施年月	活動	場所
講演「鳥たちは音楽の先生？」	2024.5.	講演	東京フォーラム（ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポン）
曲目解説 トッパンホール各種公演	2018-	曲目解説	
曲目解説 KAJIMOTO音楽事務所各種招聘公演曲目解説	2008-	曲目解説	
曲目解説 東京フィルハーモニー管弦楽団定期公演	2007-	曲目解説	
公開講座 オリヴィエ・メシアン鳥の歌に魅せられた音楽家	2021	公開講座	
公開講座 音楽・共感覚・メシアン	2021.3.	公開講座	朝日カルチャーセンター
通年解説 仙台フィルハーモニー管弦楽団 定期講演曲目解説	2018-2020	曲目解説	

公開講座 メシアンの音楽家人生の 総決算 オペラ《アッシジの聖フラン チェスコ》に迫る -死に向かう 時間を超えて-	2017.12.	公開講座	朝日カルチャーセンター
字幕作成・操作 コンポージアム 2015 サーリアホ『遙かなる愛』	2015	字幕作成・操作	
曲目解説 サイトウキネン・フェス ティバル	2011-2014	曲目解説	
曲目解説 ヴィオラ・スペース	2007-2011	曲目解説	
講演 鳥たちの目覚め	2008.6.	講演	東京芸術大学
企画：東京芸術大学メシアン・プ ロジェクト	2008.6.	企画	東京芸術大学
曲目解説 NHK交響楽団定期公演	2006-	曲目解説	

■学会・学術研究会での発表・講演等

表題	単著・共著	実施年月／会場	発表学会の名称
「Réévaluer l'influence d'André Jolivet dans le Japon d'Après-Guerre : La signification de son Concerto pour piano et orchestre, et la question de l'identité culturelle.」	単独	2024.3. パリ（フランス）	Colloque international André Jolivet
「メシアン、デュティユー、武満における時間の表象（間文化主義とその擬態）」2023.3	単独	2023.2. 東京芸術大学	20世紀日本と西洋音楽理論：相互文化主義と洋楽研究の現在－東西二元論とその超克（国際シンポジウム）
「An imaginary folding fan: Henri Dutilleux's use of poetic images to elaborate musical forms」	単独	2022.8. アテネ（ギリシア）	21st Quinquennial International Musicological Society Congress（国際学会）
「Le compositeur Henri Dutilleux (1916-2013) et le mythe de l'indépendant.」	単独	2022. 5. トゥール（フランス）	Liberté et Contrainte - Colloque transversal ICD Université de Tours（国際学会）
「Matrix and choice: A consideration of Henri Dutilleux's working practices.」	単独	2019.10. リスボン（ポルトガル）	Tracking the Creative Process of Music（国際学会）
「Beyond "la technique de douze sons": Dutilleux's free writing in Tout un monde lointain and Timbres, Espace, Mouvement」	単独	2017. 9. ハダースフィールド（イギリス）	Tracking the Creative Process of Music（国際学会）
「Henri Dutilleux's dodecaphonism in Métaboles and Tout un monde lointain」	単独	2017.6. ストラスブール（フランス）	9th European Music Analysis Conference（国際学会）
「Not a serialist, but a dodecaphonist: A sketch study of Henri Dutilleux's works of the 1960s and 1970s」	単独	2017. 3. 東京芸術大学	20th Congress of the International Musicological Society

「Comment Henri Dutilleux a incorporé le sérialisme à son langage harmonique - Analyse de "Métaboles" et "Tout un monde lointain"」	単独	2015.10. パリ（フランス）	Tracking the Creative Process in Music（国際学会）
「Sur le même accord: Dutilleux's Systematic Thinking in the Harmonic Dimension」	単独	2014. 9. ルーヴァン（ベルギー）	8th European Music Analysis Conference（国際学会）
「Le Quatuor pour la Fin du Temps d'Olivier Messiaen, ou la naissance de la 'narrativité tournante'」	単独	2013. 9. トウール（フランス）	La musique de chambre en Espagne et en France au milieu du XXe siècle : une tradition en crise ?
「メシアン創作におけるリズムと神性」	単独	2012.11. 京都女子大学	日本音楽学会第63回全国大会
「Primaauté du rythme: Une nouvelle conception du rythme chez Messiaen dans son traité posthume, et l'évolution de son style de composition.」	単独	2012.7. ローマ（イタリア）	19th Congress of the International Musicological Society
「De Chopin à Liszt: L'évolution du principe architectonique dans leurs Ballades」	単独	2011.10. ローマ（イタリア）	7th European Music Analysis Conference
「Des canyons aux étoiles...: Messiaen's rational thinking in the designing of musical form」	単独	2008.3. スプリングフィールド（オーストラリア）	First international conference of Messiaen studies
「記憶の孤独な証言者ーメシアンの音楽における鳥の歌の意味論」	単独	2005. 8. 武蔵野音楽大学	日本音楽学会関東支部315回定例研究会発表
「メシアンの《7つの俳諧》ーその形式と意味の問題」	単独	2003. 11. 神戸大学	日本音楽学会第54回全国大会
「Messiaen, Japon, Sacré（フランス語）」	単独	2002.10. パリ（フランス）	Conférence des arts sacrés, Couvent de Saint Jacques

■競争的研究費等の研究課題

タイトル	制度名・研究種目	提供機関	研究期間	研究概要
「現代音楽のフォルムの想像力：メシアン・デュティユー・ブーレーズの言説と草稿の検証」	科研費・基盤研究C	日本学術振興会	2020-2024年度	
「第5回音楽創作過程学会リスボン大会での研究発表」	野村財団芸術文化助成	野村財団	2019年	

「À la recherche d'une nouvelle base transversale: L'analyse du répertoire de la musique tonale et échange de nos connaissances sur le plan harmonique, formel et analytique de ce répertoire au sein des écoles supérieures des Arts」	A S E M - D U O fellowship programme Belgium/Wallonia-Brussels	Académie de recherche et d'enseignement supérieur	2018-2019年度	
「オリヴィエ・メシアン研究の最新の状況と将来の展望」	外国人招へい研究者(短期)	日本学術振興会	2018年度	
「アンリ・デュティユー研究：20世紀ポスト調性音楽におけるシステムと自由の問題」	科研費・基盤研究C	日本学術振興会	2015-2018年度	
「From Chopin to Liszt : The evolution of the architectonic principle in their Ballades」	村田学術振興財団海外渡航費援助	村田学術振興財団	2011年度	